



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所 東
コード番号 8789 URL <https://www.fgi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 上席執行役員 (氏名) 千田 高 (TEL) 03-6456-4600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	9,578	38.6	2,206	93.0	2,108	94.4	1,469	88.0
2023年9月期第3四半期	6,911	2.4	1,142	661.0	1,084	851.1	781	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 1,708百万円(58.3%) 2023年9月期第3四半期 1,079百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	7.34	7.31
2023年9月期第3四半期	3.88	3.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	21,069	10,666	44.9
2023年9月期	19,123	9,393	43.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 9,451百万円 2023年9月期 8,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,400	44.1	2,400	78.6	2,300	80.1	1,400	△12.7	7.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ピーコンホームサービス
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期3Q	201,321,700株	2023年9月期	201,305,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	3,607,420株	2023年9月期	20株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期3Q	200,190,947株	2023年9月期3Q	201,303,037株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、投資銀行事業において事業承継問題を抱える企業の買い手となって課題を解決する事業承継ソリューション業務受託と付帯するプライベートエクイティ投資を推進しております。

当第3四半期連結累計期間は、複数の事業承継案件が順調に進捗し航空ビジネス*も伸長したことにより、売上高は9,578百万円（前年同期比38.6%増）、売上総利益は5,589百万円（前年同期比45.6%増）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費及び支払手数料の増加により前年同期比25.5%増の3,383百万円となりましたが、営業利益は売上総利益の増加により2,206百万円（前年同期比93.0%増）、経常利益は2,108百万円（前年同期比94.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に負ののれん発生益66百万円を計上したことにより1,469百万円（前年同期比88.0%増）となりました。

* 従来の「航空機アセットマネジメント」を「航空ビジネス」に名称を変更するとともに、投資銀行事業において「アセット投資」に含めていた航空機売買・リース等による収益を「航空ビジネス」に含めて表示しております。

(単位：百万円)

	2023年9月期 第3四半期 連結累計期間	2024年9月期 第3四半期 連結累計期間	増減額
売上高	6,911	9,578	2,667
投資銀行事業	5,081	7,743	2,661
公共コンサルティング事業	248	313	65
エンタテインメント・サービス事業	1,796	1,800	4
消去	△214	△278	△63
売上総利益	3,839	5,589	1,750
投資銀行事業	3,541	5,111	1,570
公共コンサルティング事業	136	200	63
エンタテインメント・サービス事業	258	415	156
消去	△98	△138	△40
営業利益 (セグメント利益又はセグメント損失(△))	1,142	2,206	1,063
投資銀行事業	1,948	3,077	1,129
公共コンサルティング事業	△41	△16	25
エンタテインメント・サービス事業	△224	△198	25
消去又は全社費用	△539	△657	△117
経常利益	1,084	2,108	1,023
税金等調整前四半期純利益	1,250	2,175	924
親会社株主に帰属する四半期純利益	781	1,469	688

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 投資銀行事業

投資銀行事業では、事業承継案件や金融商品の組成・運用などにおける業務受託収益や、プライベートエクイティ投資の回収による投資収益が前年同期比で増加しました。アセットマネジメントについては、預り資産残高が海外投資家によるレジデンス投資により前連結会計年度末比33.9%増の1,496億円となり、ストック型収益の基盤が強化されました。またアセット投資においては、不動産信託受益権による小口化商品販売が増加し、航空ビジネスにおいては、技術サービス及び航空機登録事業が堅調に推移しました。コロナ禍の沈静化により技術サービスの需要に変化の兆しがありますが、航空機等リース事業を新たに開始するなど積極的に収益基盤を拡大させました。

以上の結果、投資銀行事業の売上高は7,743百万円（前年同期比52.4%増）、セグメント利益は3,077百万円（前年同期比57.9%増）となりました。

② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、地方公共団体等に財務書類作成支援や公共施設マネジメント支援などのソリューションを提供しております。財務書類作成支援においてはアウトソーシングニーズと当社グループの専門性によって大規模自治体からの引き合いが続いており、令和6年度（2024年4月～2025年3月）の受託団体数は都道府県において10団体（前年度は9団体）、政令指定都市・特別区において12団体（前年度は13団体）となっております。公共施設マネジメント支援においては、各施設の維持管理・更新等を定める個別施設計画の他、長寿命化や再編・再配置に関する計画・調査の支援が増加しました。地方公共団体への支援は、子育て・健康増進など幅広い分野に広がりを見せており、コンサルタントの人員を増強して営業を拡大しています。

以上の結果、公共コンサルティング事業の売上高は313百万円（前年同期比26.4%増）、セグメント損益は前年同期より25百万円改善し16百万円の損失となりました。

③ エンタテインメント・サービス事業

エンタテインメント・サービス事業では、ムーミンバレーパークにおいて2023年11月から「ウインターワンダーランド イン ムーミンバレーパーク2023」及び「ムーミン谷の冬花火」、2024年3月からは開業5周年のプロモーションや及び「SPRING FESTIVAL 2024」、2024年4月から「ムーミン谷とアンブレラ」などのイベントを行うとともに、既存施設のリニューアルを行い集客に努めました。メッツァ（メッツァビレッジ及びムーミンバレーパーク）の来園者数は前年同期比3.8%減の49万人でしたが、夜のイベント・花火大会による滞在時間の増加や価格改定等により、顧客単価は上昇しました。

以上の結果、エンタテインメント・サービス事業の売上高は、入園チケットや物販・飲食などの売上高が増加した結果、1,800百万円（前年同期比0.3%増）となりました。費用面では業務委託や物販・飲食の仕入先などの見直し、価格改定、オリジナルグッズの販売強化などにより原価低減が進み、原価率は前年同期比8.7ポイント改善し76.9%となった結果、セグメント損益は前年同期より25百万円改善して198百万円の損失となりました。

なお、ムーミンバレーパークは2024年3月16日に開業5周年を迎え、コンテンツの充実やプロモーションを積極展開しております。7月に新エリア「入江のテラス」を開設して「ムーミン谷でみずあそび」を開催するほか、7月27日から9月30日に「こども応援キャンペーン」として高校生以下を対象に「こども1デーパス500円」を実施し、年齢層に応じた価格設定により来園者数の引き上げを図っております。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より10.2%増加し、21,069百万円となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が公共コンサルティング事業及び航空ビジネスの売掛金回収により341百万円、不動産小口化商品の販売に伴う信託受益権の減少により、営業投資有価証券が389百万円減少したものの、現金及び預金が1,596百万円、不動産開発案件の竣工などにより販売用不動産が528百万円、オペレーティングリース事業開始に伴う賃貸資産の取得及びメッツァにおける太陽光発電設備の設置により有形固定資産の「その他」が533百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より6.9%増加し、10,402百万円となりました。これは主として、長期借入金が550百万円減少したものの、運転資金及び賃貸資産（ヘリコプター）の取得のための借入により短期借入金が853百万円、1年内返済予定の長期借入金が146百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より13.6%増加し、10,666百万円となりました。これは主として、自己株式の取得により298百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,469百万円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表いたしました2024年9月期の連結業績予想を以下の通り修正しました。

通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,400	2,200	2,000	1,400	7.01
今回発表予想 (B)	13,400	2,400	2,300	1,400	7.02
増減額 (B-A)	2,000	200	300	0	—
増減率 (%)	17.5	9.1	15.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2023年9月期)	9,302	1,343	1,277	1,603	7.97

事業承継ソリューション業務受託と付帯するプライベートエクイティ投資、及びその他の投資銀行事業の各業務が順調に進捗していることから、売上高は前回予想を上回り、営業利益、経常利益も前回予想を上回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、メッツァが開業5周年を迎えリニューアルなどを進める一方、従来からの保有資産の見直しを進める中で一部固定資産の除却を想定しているため、前回予想から修正いたしません。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,918,561	4,515,417
受取手形、売掛金及び契約資産	1,355,231	1,013,333
営業投資有価証券	2,848,142	2,459,051
営業貸付金	346,365	336,015
販売用不動産	4,095,967	4,624,843
商品	160,768	146,264
その他	883,381	1,023,875
貸倒引当金	△131,170	△138,798
流動資産合計	12,477,247	13,980,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,379,191	5,372,879
減価償却累計額	△902,259	△1,028,852
建物及び構築物（純額）	4,476,932	4,344,027
その他	1,053,136	1,586,594
有形固定資産合計	5,530,068	5,930,622
無形固定資産		
のれん	105,272	89,842
その他	25,987	47,670
無形固定資産合計	131,260	137,512
投資その他の資産		
投資有価証券	535,327	548,333
長期貸付金	16,672	10,423
繰延税金資産	140,877	103,591
その他	292,531	393,359
貸倒引当金	△30	△34,461
投資その他の資産合計	985,377	1,021,245
固定資産合計	6,646,706	7,089,379
資産合計	19,123,953	21,069,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	308,710	263,903
短期借入金	77,954	931,285
1年内返済予定の長期借入金	6,082,038	6,228,415
未払法人税等	125,884	277,195
リース債務	149,086	34,437
賞与引当金	257,626	279,773
その他	879,363	1,162,594
流動負債合計	7,880,663	9,177,605
固定負債		
長期借入金	1,290,817	740,350
リース債務	50,723	27,852
繰延税金負債	97,175	16,616
退職給付に係る負債	126,297	147,058
その他	284,955	293,429
固定負債合計	1,849,970	1,225,306
負債合計	9,730,633	10,402,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,372,574	5,373,336
資本剰余金	974,443	968,642
利益剰余金	1,794,907	3,264,643
自己株式	△0	△298,037
株主資本合計	8,141,924	9,308,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,416	39,145
為替換算調整勘定	83,266	103,809
その他の包括利益累計額合計	150,683	142,954
新株予約権	77,299	101,497
非支配株主持分	1,023,412	1,113,433
純資産合計	9,393,319	10,666,471
負債純資産合計	19,123,953	21,069,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,911,192	9,578,972
売上原価	3,072,185	3,989,291
売上総利益	3,839,006	5,589,681
販売費及び一般管理費	2,696,087	3,383,580
営業利益	1,142,918	2,206,100
営業外収益		
受取利息	3,216	11,104
為替差益	—	5,123
持分法による投資利益	33,940	27,857
助成金収入	26,774	2,990
その他	2,340	8,020
営業外収益合計	66,271	55,096
営業外費用		
支払利息	96,953	127,054
投資有価証券評価損	—	14,970
為替差損	20,228	—
その他	7,536	10,724
営業外費用合計	124,718	152,749
経常利益	1,084,472	2,108,447
特別利益		
投資有価証券売却益	8,000	—
負ののれん発生益	190,025	66,531
その他	369	511
特別利益合計	198,394	67,043
特別損失		
固定資産除却損	32,369	—
特別損失合計	32,369	—
税金等調整前四半期純利益	1,250,497	2,175,490
法人税、住民税及び事業税	250,403	501,366
法人税等調整額	1,749	△26,946
法人税等合計	252,153	474,420
四半期純利益	998,344	1,701,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	216,613	231,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	781,731	1,469,736

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	998,344	1,701,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,259	△34,322
為替換算調整勘定	20,619	41,637
その他の包括利益合計	80,879	7,315
四半期包括利益	1,079,224	1,708,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853,112	1,462,008
非支配株主に係る四半期包括利益	226,111	246,378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

当社は、2022年12月22日開催の第28期定時株主総会において、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議し、2023年1月27日にその効力が発生しました。これにより、資本金が1,098,930千円、資本準備金が4,036,488千円減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、利益準備金が47,303千円減少し、繰越利益剰余金に振り替えました。

また、増加したその他資本剰余金5,135,419千円を繰越利益剰余金に振り替え、繰越利益剰余金の欠損を填補しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が5,372,574千円、資本剰余金が974,443千円、利益剰余金が973,209千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,933,244	239,225	1,738,721	6,911,192	—	6,911,192
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	148,414	9,000	57,283	214,697	△214,697	—
計	5,081,658	248,225	1,796,005	7,125,889	△214,697	6,911,192
セグメント利益 又は損失(△)	1,948,781	△41,896	△224,690	1,682,194	△539,275	1,142,918

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△539,275千円には、セグメント間取引消去177,893千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△717,169千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

投資銀行事業セグメントにおいて、第2四半期連結累計期間より㈱トリニティジャパンの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は190,025千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,601,197	304,642	1,673,132	9,578,972	—	9,578,972
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	142,201	9,000	127,427	278,629	△278,629	—
計	7,743,398	313,642	1,800,560	9,857,601	△278,629	9,578,972
セグメント利益 又は損失 (△)	3,077,956	△16,036	△198,778	2,863,142	△657,041	2,206,100

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△657,041千円には、セグメント間取引消去208,282千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△865,323千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

投資銀行事業セグメントにおいて、第2四半期連結累計期間より㈱ピーコンホームサービスの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は66,531千円であります。なお、負ののれんの発生益の金額は、当第3四半期連結累計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含まれておりません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	332,915 千円	331,426 千円
のれんの償却額	16,733 千円	19,023 千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。